

関東大震災からの演劇復興と築地小劇場の興起

目次

第一節	新劇の勃興と震災前夜における新劇人その一
第二節	新劇の勃興と震災前夜における新劇人その二
第三節	大震災による新劇人の衝撃と覚醒その一 劇壇の被災および苦衷
第四節	大震災による新劇人の衝撃と覚醒その二 新劇女優陣の震災対処
第五節	大震災による新劇人の衝撃と覚醒その三 劇団の迫害および受難
第六節	震災からの復興と各種劇団の復活
第七節	築地小劇場への構想と準備
第八節	築地小劇場の創業と柿落し（第一年六月『海戦』）

第九節	愛と青春への築地讃歌（第一年八月『思い出』・十一月『恋愛三昧』）
第十節	反体制戯曲への監視と弾圧（第一年九月『瓦斯』）
第十一節	ゴオリキイの戯曲と小山内薫の念願（第一年十月『夜の宿』）
第十二節	東山千栄子の俳優志願（第一年十二月①『朝から夜中まで』）
第十三節	築地小劇場〈子どもの日〉（第一年十二月②『そら豆の煮えるまで』）
第十四節	チェーホフの戯曲と築地演技陣（第二年二月『桜の園』）
第十五節	築地小劇場への上演禁止（第二年六月『ヒルケマン』・『決定』）
第十六節	『青い鳥』と及川道子（第二年十二月団員の献身と観客の熱狂）
第十七節	坪内逍遙と築地小劇場（第三年三月『役の行者』）